

第6回宮津まちづくり会議兼第2回ワーキング

日時：平成26年8月22日（金）

場所：宮津商工会議所 大会議室

1 協議事項

1) 今後のスケジュールについて（資料1, 2 参照）

- ・調査事業に関して、委員の皆様の見解、WGの見解を踏まえ、かつ浜町地区の現状調査などの事業化可能性調査を実施することで承認。
- ・実証実験事業に関して、市内の地域活動団体等を中心に企画し、秋ごろから定期開催、様々な賑わいの企画を行うことで承認。
- ・スケジュール視察等に関して、事務局案で承認。

【主な意見】

- ・今後の講演会について、委員以外にも参加可能なのか
→まずは委員、ワーキングメンバーのスキルアップを目的とするため、9月中下旬に予定の講演会においては、委員、ワーキングメンバーのみの参加で行う。

2) 今後のワーキングについて

- ・ワーキングへの新たなメンバーの参加を承認。
- ・各委員はできる限り、両ワーキングへの参加を願う。
- ・各ワーキングは別日で行う。
- ・次回以降の開催については、原則月1回の夜開催とすることで合意。
（詳細な日時が決まり次第各委員に知らせることとする。）

3) 具体の機能、施設等について（資料3 参照）

- ・商業ゾーン、公園・海辺ゾーンの具体的な機能や施設の深堀を行いました。

【ファシリテーターの主な意見】

- ・熱心な議論に感心した。地域住民も観光の主体になる。
- ・平日は地域住民がお金を落とすようなしくみ作りをしなくてはならない。
- ・海の見える、海を生かしたレストランなど工夫を議論したい。
- ・手巻き寿司発祥の地と言ってしまうのも一考。話題性をつくることが重要。向日町の激辛商店街はよい事例。若者、変わり者、女性の視点で検討を進めることが必要。東京築地市場や、もんじゃ焼きは朝ドラで紹介されて流行った。お寿司ストリートなどの工夫を。日本一おいしい酢飯

の宮津など・・・。地域とよそもののコラボで議論進めたい。

- 地元の人を観光客に。中高年のお金持ちをターゲットにしていく。
- 地元のおいしいものを使ったレストラン。地元住民にも憧れとなるような施設を整備していくことが重要。
- 地のモノを使ったイタリアンなど工夫が必要。
- エリアごとに若者、観光客等ターゲットを分けて整備していくことも一つ。海鮮市場のネーミングを視察後に検討。

以上